

東京都の産学連携による観光経営人材育成講座

持続可能な観光地マネジメントにむけて



講座内容

SDGs（持続可能な開発目標）が着目されており、観光面でも現在と未来の経済、社会、環境への影響に十分配慮した地域づくりを考えなければなりません。東京都でも「持続可能な観光の推進」が重要事項として挙げられています。本講座では、持続可能な観光のための指標をはじめとして、観光地計画・ウィズコロナの観光まちづくり、DMOにおけるプライス・ブランディング、温泉による地域活性化、歴史文化資源の活用、経済・観光消費分析、データ活用による観光動態の解析などを考察していきます。各講義後にグループディスカッションを通じて、持続可能な観光地マネジメントへのアプローチ・視座を提示します。

開催日時

/// 2022年オンライン講座 ///

2022年1月29日(土)、2月5日(土)、2月12日(土)

土曜日
3日間
の集中講座

受講対象者：都内に在住あるいは在勤している方で、地域の観光振興・観光産業・環境を考慮した地域資源の利活用に関わる方

募集定員：30名程度（応募者多数の場合は抽選等を行い受講者を決定します）

受講料：無料

お申し込み方法

応募締め切り：2022年1月11日(火)

STEP1

Webサイトから応募シートをダウンロードする

<https://www.toyo.ac.jp/news/research/cooperation/ciit/tokyo-toyokanko2021/>

STEP2

応募シートの項目を入力しメールに添付する。

ml-tokyo-toyokanko@toyo.jp 宛にメールをお送りください

STEP3

受講者選考結果を受け取る

2022年1月17日(月) 迄に選考結果をメールにてご連絡致します



▼お申し込みの際にご留意ください
本講座は、東京都と東洋大学が連携して実施する観光経営人材育成事業です。このため、事業趣旨に沿ったお申込みであることを確認させていただきます。
※お預かりした個人情報は、東洋大学及び東京都で共有し、本事業の運営にかかわる目的のみ使用いたします。
※講座は撮影、映像収録を行う予定です。予めご了承ください。



東洋大学

事業実施

東洋大学 産学連携による観光経営人材育成事業事務局
東京都 東京都産業労働局観光部受入環境課

連絡先

東洋大学 研究推進部 産官学連携推進課 観光経営人材育成事務局
☎03-3945-7161 ✉ml-tokyo-toyokanko@toyo.jp

講義スケジュール	時間	講義概要・講師
2022/1/29 (土) 1回目 ガイダンス	10:00～ 10:30	主催者挨拶 ガイダンス (内容・進め方、古屋秀樹) ○参加者の自己紹介 (受講の理由、期待していることなど)
	10:30～ 11:10	①持続可能な観光づくりの取り組み (オーバーツーリズムへの対応事例、国連の取り組み (MDGs, SDGs と投資・気候・防災との関連)、持続可能な観光のための指標を取り上げます) 講師 東洋大学 国際観光学部 教授 古屋秀樹
	11:10～ 11:30	○ブレイクアウトセッション (グループに分けて、持続可能な観光づくりに向けた取り組みについてディスカッション)
2022/2/5 (土) 2回目 (1) 観光地マネジメントの概要	10:00～ 10:50	②観光まちづくりの総論・最近の潮流 (観光地計画と観光まちづくりの違い、地域資源と観光資源の関係、観光地の価値構造、マイクロツーリズムなどウィズコロナの観光まちづくりについて) 講師 東洋大学 国際観光学部 教授 佐野浩祥
	11:00～ 11:50	③DMOにおけるプレイス・ブランディング (近年、海外DMOではブランドを構築・強化する動きがあります。ブランドが強化されると人々やビジネスを持続的に魅了すると考えられているからです。英国と米国の事例を中心に解説します。) 講師 東洋大学 国際観光学部 講師 宮崎 裕二
	11:50～ 12:20	○講師間の意見交換ならびに受講生との質疑
(2) 歴史を踏まえた地域づくりの取り組み	13:30～ 14:20	④観光まちづくり (温泉を活用した地域づくり) 温泉資源の特徴および温泉地の形成過程を踏まえたうえで、温泉を中心とした地域活性化について解説します。 講師 東洋大学 国際観光学部 准教授 内田彩
	14:30～ 15:20	⑤観光まちづくり (歴史を活用した地域づくり) 歴史文化資源を活かした観光まちづくりについて、京都府舞鶴市の事例などをふまえて解説します。 講師 東洋大学 国際観光学部 教授 須賀 忠芳
	15:20～ 16:00	○講師間の意見交換ならびにブレイクアウトセッション (グループに分けて、観光地マネジメントならびに歴史を踏まえた地域づくりについてディスカッション)
2022/2/12 (土) 3回目 (1) EBPM (エビデンス・ベスト・ポリシー・メイキング) を考慮した地域マネジメント	10:00～ 10:50	⑥エビデンスの捉え方ー消費と周遊観光を事例として (観光地域にとって関心の高い観光消費分析の方法と注意点、および人気のある周遊観光政策の効果を考えます) 講師 東洋大学 国際観光学部 准教授 栗原 剛
	11:00～ 11:50	⑦観光客の移動や誘致圏、GPS, GIS を活用した観光動態の分析 (観光客の移動や誘致圏の捉え方、GPSなど人流ビッグデータとそれを可視化する地理情報システム (GIS) の扱い方について解説します。) 講師 東洋大学 国際観光学部 准教授 杉本興運
	11:50～ 12:10	○講師間の意見交換ならびに受講生との質疑
(2) 持続可能な地域づくりの取り組み	13:15～ 14:15	⑧持続可能な地域づくりの関連事項に関する講義 (事例紹介: 事業評価と合意形成との関連 (NY、ベネチア、鎌倉等)、適切な投資の誘導 (情報開示など)、観光における費用対効果の考慮 (米国等)) 講師 東洋大学 国際観光学部 教授 古屋秀樹
	14:15～ 14:40	○質疑応答の後、ブレイクアウトセッション (EBPMならびに持続可能な地域マネジメントについてディスカッション)
	14:50～ 15:40	○受講生からの講座について感想・意見交換

※講義内容・講師は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

本事業で
育成する
人材像

- 地域資源を観光資源に磨き上げ持続可能な観光に挑戦する人材
- 最新動向を把握し、人脈を築き、国際競争力向上を目指す人材
- 科学的分析手法を用いて、PDCAを実践できる人材
- インバウンド観光に関する実践的な知識を有する人材
- 所属組織の観光ビジョン・復興戦略を策定できる人材

問い合わせ先 東洋大学国際観光学部教授 古屋秀樹

